2026 年 11 月 5 日

各 位

SBI 新生信託銀行株式会社

個人情報の漏えいに関するお詫びとお知らせ

このたび、当社が業務の一部を委託している LENDY 債権回収株式会社（以下「LENDY」といいます。）が使用するシステムにおいて、第三者による不正アクセスが発生し、当社が株式会社 IDOM から信託勘定にて受託したオートローンのお客さまのうちの一部の方にかかる個人情報が第三者に閲覧されたことが判明いたしました。

対象となるお客さまをはじめ、関係する皆さまには、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

当社では、本件の判明後、LENDY と連携して原因および影響範囲の確認を進めるとともに、LENDY を通じた対象となるお客さまへの個別のご案内、関係当局への必要な報告その他の対応を進めております。

本件の概要および当社の対応状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本件の概要

2026 年 10 月 30 日、LENDY が業務で使用しているシステムに、許可を受けていない第三者が利用者登録（アカウントの作成）を行ってログインし、システムに保管されていた情報を閲覧していたこと、および情報データをダウンロードした可能性があることが判明しました。

2. 対象となるお客さまおよび個人情報

本件により、当社が取り扱う一部のお客さま（912 名）について、以下の情報の全部または一部が第三者に閲覧されました。また、同情報のデータが取得された可能性があります。

- 氏名
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス
- 交渉履歴
- その他、当該システムに登録されていた情報

※本人確認書類に関する画像・情報や、クレジットカードに関する情報等は含まれておりません。

なお、対象となるお客さまのプライバシー保護および二次的な不利益の防止の観点から、本お知らせでは、対象となる個別のお取引・契約等の内容については公表を差し控えております。

対象となるお客さまには、当社の委託を受けて LENDY から、順次個別にご案内しております。

3. 二次被害の状況

現時点において、本件に関連して、対象となった個人情報が不正に利用されたことによる二次被害は確認されておりません。

4. 原因および対応状況

本件については、LENDY の当該システムにおいて、外部の第三者によるアカウント作成を防止する仕組み、および利用者ごとに閲覧できるデータを制限する仕組みが十分でなかったことが原因と考えております。

LENDY では、本件判明後、不正アクセスに使用されたアカウントの無効化、ログイン中のセッションの強制終了、新規アカウント登録機能の停止、当該システムの隔離・停止等の措置を実施しております。

当社においても、LENDY に対して原因究明および影響範囲の確認を求めるとともに、LENDY における安全管理措置ならびに当社における委託先管理態勢について検証を進めております。

5. お客さまへのお願い

現時点では二次被害は確認されておりませんが、本件の対象となった情報が悪用される可能性を完全に否定することはできません。

当社、LENDY その他の関係者を装った不審な電話、メール、SMS、郵便物等には十分ご注意いただき、身に覚えのない請求、振込先の変更を求める連絡、不審な URL へのアクセスや個人情報の入力を求める連絡等がございましたら、安易に対応せず、下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

6. 今後の対応

当社は、本件を重く受け止め、LENDY および関係各社と連携して原因および影響範囲の確認を継続するとともに、必要な再発防止策の実施および委託先管理態勢の一層の強化に取り組んでまいります。

また、今後の調査により新たにお客さまへの影響が確認された場合には、対象となるお客さまへのご案内を含め、必要な対応を速やかに実施してまいります。

改めまして、対象となるお客さまをはじめ、関係する皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

窓口	LENDY 債権回収株式会社　個人情報対応窓口
メールアドレス	security-inquiry@lendy-servicing.jp